

新年を迎えて

安住寺檀信徒の皆様、並びに当山にご縁を頂いております皆様には、新年をつつがなく迎えられることができましたこと、心よりお慶び申し上げます。

総代様、地区世話人様をはじめ皆様方の護持、護法の念を賜りまして、無事に一年過ごせましたこと、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、四月に熊本県大分県に大きな被害をもたらした大地震が起きました。檀家の方にも家屋が倒壊し転居を余儀なくされた方もあり改めて地震の怖さを痛感しました。お亡くなりになった方や、現在も仮設住宅などで避難生活を送られている方もあります。忘れてはならないことであります。

ところで、記憶に新しい事ではありますが、ほかに人材はいなかったのかと思うほど、悪口の言い合い、罵り合いが酷かった、アメリカ合衆国大統領選。

また、国が変わればこんなに違うものかと思われた、百万人以上が参加した韓国大統領への過熱抗議デモがありました。

どちらも、ある種の戦いで勝つ者と敗北するものがある。

私たちの生活に置き換えれば、受験戦争、売上競争はたまた、あの家庭よりいい生活がしたい。自分の考えを通したいと、競い勝ち負けが付きまとうことが多い。

『法句経二〇一』

勝つ者

怨みを招かん

ひと

他に敗れたる者

くるしみて臥す

されど

勝敗の二つを棄てて

こころ静寂しずかなる人は

おきふし

起居ともに

さいわいなり

勝った者は怨まれ、新たな敵をつくり、ひどい時には危害を加えられる。負けた者は心打ち

日々是好日

●九月二十日、今年も合掌会の皆様のご協力で、楽しく和やかな敬老会を開催することができました。●十月二十日、大分市金池の大智寺様の晋山式が執り行われ、随喜してきました。同日は岐阜県瑞浪市でも後輩の晋山式がありお目出度い一日となりました。●十一月四日、杵築市仏教会主催グランドゴルフ大会が開催されました。今年度は大案



グランドゴルフ参加頂いた皆さん

内が遅れ1チームのみ出場となりました。ご参加頂きました皆様ありがとうございます。●十一月二十八日、合掌会奉仕作業があり三十名以上のご協力を頂

き、堂内くまなく綺麗にして頂きました。心より感謝申し上げます。●十二月十日座禅会納会。十二月十二日写経会納会。皆さん一年間お疲れ様でした。常時新会員さんを募集しています。



無想会（坐禅会）会員の皆さん

●大晦日の晩は除夜の鐘を撞いています。ご家族でお参りください。●一月三日年始会。総代様世話人様ご出席お願いいたします。●一月十七日の大般若祈祷会法要には、部内（県内の南禅寺派の寺院）の和尚様もお参りいたします。一年の平安を皆さんで祈願いたしましょう。

碎かれ病み臥してしまふ。

世の中には、勝ち負けを争ったがために起きた不幸が日々起こっております。

しかし、全ての勝ち負けを否定するわけではありません。

全力を尽くし、自分の能力を精一杯発揮し、自分のため他のためにと励む姿は、どの分野においても素晴らしく評価されるもので、勝ち負けは二義的についてくるものです。問題なのは目的が勝ち負けになっていることです。

勝敗の二つを棄てて

こころ静寂なる人は

起居ともに

さいわいなり

「勝ち負け」のような相対的二元的な世界を離れ、静かに心を調えた境地には、迷いも悩みも無く、静かなる安らぎを得ることができます。禅の教えも正にその通りです。

「報恩の念を新たに」

臨済宗では、般若心経と消災呪をお唱えしご本尊に次のよう

に、ご回向します。

「上は四恩に報い、下は三有を資け、法界の群生は同じく種智を円かにせんことを」

これは父母・衆生（社会）・国・三宝（仏法僧）との縁に感謝し、恩に報い、下は欲界・色界・無色界にある全てを助け、生きとし生けるものが、仏の智慧を明らかにし、仏心に目覚めますようにと願う祈りであります。

豊かそうに見えるこの日本で、心の飢えはないでしょうか。だれからも必要とされず、だけれども愛されていないという心の貧しさ。物質的な貧しさに比べ、心の貧しさは深刻です。心の貧しさこそ、一切のパンの飢えよりも、もっともつと貧しいことだと思えます。日本のみなさん、豊かさの中で貧しさを忘れないでください。

この言葉は、過去にマザーテレサが日本に来日された時に残された言葉です。二十年以上も前の言葉であるが、考えさせら

れる言葉であります。

「心の貧しさ」とは何でしょう。それは、報恩感謝を忘れた心ではないでしょうか。今ある私がたくさんの方に支えられ生かされてきたことに気づき、その恩に報いるべき生き方をするのが大切です。



昨年は子供たち四人が、本山にて得度をさせて頂きました。私自身が小さい時分、檀家の皆様方に支えられ導かれていたことを思い出しました。

「恩送り」という言葉があります。受けた恩を直接相手に返すのではなく他の誰かに送ることが「恩送り」です。

縁を頂けた方々に少しでも恩送りができるような新たな一年

「禅 - 今を生きる」白隠禅師 250 年遠諱にあたり㊦

白隠 27 歳遠州新居・龍谷寺で『沙石集』の「一切の智者および高僧、菩提心無き者はことごとく魔道に墮す」の一節に出会い恐懼疑念を起こす。

多年修行し 42 歳、菩提心とは四弘誓願の実践なりと悟られた。

衆生無辺誓願度（たくさんの人が幸せになれるように誓って励みます。）

煩惱無尽誓願断（煩惱は尽きないが誓って無くしていきます。）

法門無量誓願学（大切な教えは計り知れないが誓って学びます。）

仏道無上誓願成（最上の悟りは遥かなれど誓って成しとげます。）

『四弘誓願』は上求菩提・下化衆生の実践なり。四弘誓願を行ずることが、白隠禅師の生き方そのものだったかもしれません。

にしたいと考えております。その思いで、今年の干支色紙には「報恩新」と書かせていただきました。

本年も何卒ご指導ご法愛を賜りますようお願い申し上げます。皆様方に於かれまして、ご健勝にて安らぎある一年となりますよう御祈念申し上げます。

熊本大地震 被災地、その後

閑栖記

まず、昨年の四月十四日と十六日に発生した熊本地震で被災された方々に対し、心からのお見舞いを申し上げます。

地震と地震関連で亡くなられた方は、百三十七名。重傷者は九百九十三名だそうです。自宅も壊れたので仮設住宅や民間と公営住宅に住み、年越しをされた方が一万七千五百世帯余りも有ることです。半壊以上の住宅被害は、熊本県、大分県合わせて四万戸余りと集計されています。

(国の「非常災害対策本部」資料による) 11月13日 現在



上は、倒壊した阿蘇神社の楼門です。拝殿は撤去され、復旧工事が始まっていました。右下の写真は、豊肥線立野駅近くの墓地です。中に入って行けないくらいの惨状です。



檀信徒の皆様より寄せられた義援金(賽銭箱)は、八月に杵築市(日赤)を通じて十万円をお届けさせていただきました。それでもずっと気になっていたので、十一月二十二日にやつとお見舞いに伺いました。

国道五七号は、阿蘇大橋付近で不通になっているので、赤水より阿蘇外輪山を通る県道23号で大須町へと迂回。大須からは五七号を阿蘇町方面に戻り、立野で車を止めました。

ブルーシートで覆われた屋根が多く、山も各所で崩れていました。国道は片側が復旧工事中で多くのトラックが行き来して

ました。国道脇に墓地があり、全ての墓が壊れていました。新しい墓もひどく壊れ、お骨壺が割れたままになっていました。墓やご先祖のことまで手が出せない状況が垣間見えて、本当にお気の毒でなりませんでした。東北のことも忘れてはなりません。が、今後ともできる限り支援をせねばと感じました。

当分の間、お賽銭で支援を続けます。引き続きご協力をお願いいたします。

合掌会活動

☆日帰りバス旅行☆

昨年の十月二十五日、日帰りで大分方面へ研修を兼ねたバス旅行を実施しました。閑栖和尚様の企画で、大分川ダムの工事現場や県立美術館などを見学しました。参加者が多く断りする状況でした。ダムの規模の大きさにビックリしたり、住宅団地や工場に水を供給することの大変さなどを学びました。

☆奉仕作業☆

十一月二十八日は、安住寺諸堂を掃除する奉仕作業でした。寒い日でしたが、お勤めを休ん

◇行事予定◇

一月三日・役員年始会
一月六日・御詠歌初稽古
一月十四日・早朝初坐禅会
一月十七日・大般若・観音講
一月二十三日・写経写仏の会
一月二十八日・早朝坐禅会
二月二十一日・責任役員総代会
御詠歌Ⅱ二月三月とも七日
詠歌観音講Ⅱ二月三月とも十七日
坐禅Ⅱ二月11・25三月11・24
写経の会Ⅱ二月20・三月21日
説教Ⅱ四月二三日・二四日
都合により変更することがあります。



ダム工事の現場を見学する参加者

での方も多く、三十五名が参加されました。開山堂に初めて入られた方もいたようでした。お茶の時に閑栖和尚様より寺の歴史のお話もあり良かったです。参加の皆様

様大変ご苦労さまでした。

会長 廣石美枝子記